

夏季手当採結

動労千葉は、一九八五年度の夏季手当での交渉を行ってきましたが、六月二五日十七時に至り、次の内容で妥結しました。

- ① 支払範囲……一九八五年七月四日現在職員
- ② 支払額……基準内賃金(婚姻加算)の182月分
- ③ 支払日……一九八五年七月四日以降(準備でき次第)
- ④ その他の取扱い……従来と同様(※詳細については「交渉ニュース」を参照)

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

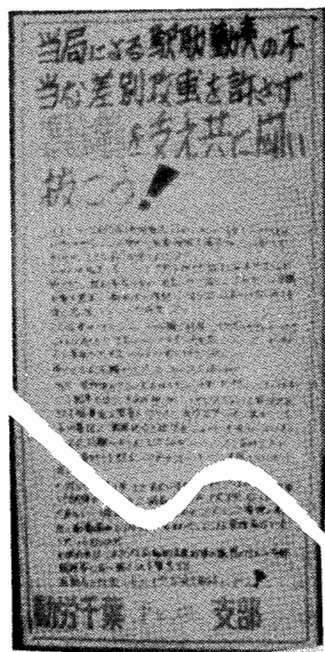
労働者の魂は絶対に売り渡さないぞ

名札強要拒否-不当勤務差別粉碎！

全員の団結力で闘いぬくぞ

津田沼支部通信員・発

これに対して、総評・社会党・国労等々を中心に全体がいわゆる『再建』論議に埋没している状況にある。動労『本部』などは、これ以下のレベルである。この間彼等のやってきた方針は、『分割・民営』の本答申が出ることによって、完全に破産するものだ。われわれは、こうした種々の状況をしっかりとみすえ、『三里塚と国鉄』で中曽根と対決する路線で一致団結して決起していこう。当面、『名札』問題で当局の『過員』と『要員』にふりわけける攻撃に、とりわけ83名の仲間達が、一人ももれなくがんばりぬいたこと、この地平を全体で確認し、職場での闘いをさらに進めていくこととしよう」と、決意と方針を提起した。



集会は、続いて本部から、本集会に布施書記長、片岡組織・教宣部長が参加され、代表して、布施書記長があいさつにたち、「83名の駅での闘いは、国鉄当局が混乱するところまでおいつめた。このことを全体化してほしい。われわれをめぐる当面の全情勢は、国鉄の『分割・民営化』攻撃であり、すでに発表されているとおり、八万人の首切り攻撃である。動労千葉は、『再建』論議は多少の首切りはやむを得ないなどを絶対に許さず、一人の首切りも許さない立場を鮮明にして闘っていきたい。そのために、今、われわれにかけられてきているさまざまな攻撃と職場において全体が団結してがんばってほしい」と、力強いあいさつがされた。集会は、連日、現場長抗議交渉をおこなっている最中でもあり、とくに、駅助勤解除の仲間を中心に全体が盛りあがり成功のうちに終了した。

集会は、続いて、検修職場に会場をうつし、検集の仲間全体が参加するなかで開催された。参加したどの顔も、怒りをあらたに、政府・監理委・国鉄当局の国鉄労働者に対する攻撃に対決して闘うことを決意して、成功をかちとった。



監理委7月答申粉碎総決起の決意を明らかにする山下支部長。

津沼支部で「助勤解除」抗議集会開催

6月21日、津田沼支部職場集会在開催され、17日を期して「名札」問題で理不尽にも「助勤解除」とされた仲間を中心に50名余りの乗務員が参加して怒りもあらたに助勤解除抗議集会としてかちとられた。

「過員」「要員」の
区別立ては許さない
山下支部長

83名の仲間の闘いをあげあとに続く
本部・布施書記長

85. 6. 25

No. 1973

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)(公衆)〇四七二(二二)七二〇七